

○議長（茅沼隆文）

日程第2 諸般の報告を行います。新年に当たり、町長より登壇の上、年頭のご挨拶をお願いいたします。

町長。

○町長（府川裕一）

改めて皆さん明けましておめでとうございます。午前中は表彰式及び賀詞交歓会に議長をはじめ、皆さん方にも出席をいただき、盛大に開催することができました。本当にありがとうございます。

議員の皆様には、昨年7月の選挙がありまして、新しい議員の皆様が5人誕生いたしました。昨年1年間、皆さん方に、町のいろいろな行事や事業にご協力いただき、そして議会においてはさまざまな提案をいただき、本当にありがとうございました。

町においては、町制60周年という記念の年でありました。この60周年という区切りの年を、私は一番大事な、大切な区切りだと考え、さらに60周年をスタートの年と位置付けをさせていただきました。茅沼議長のほうからも、議員のときの提案で、総合戦略を立てて、戦略プランを立てて進めたらどうかという提案もいただきましたけれども、60周年を迎える前に、1年前から若手が戦略プランを立てるため、プロジェクトチームをつくって、いろいろな戦略を立てました。その戦略プランをまた改めて見直してみたときに、職員がよくここまで作り上げたなど改めて思っておりますけれども、その1年間の中で、特に何を進めてきたか。開成町のブランド価値を高めて、外にPRをしていくと、その1点です。

それから、開成町のスタートという位置付けの中で、どういうまちづくりをしているのかということの中で、一言であらわすキャッチフレーズが「田舎モダン」という言葉、さらにそのロゴマークをつくらせていただいて、それに沿って1年間やってきました。

特に大きなイベント、ひな祭りから、あじさい祭り、夏の花火大会、秋の阿波踊りということの中で、3階の産業振興課の前に行っていただくともわかりますけれども、ポスターがまだ残っております。いかに開成町のイベントを含めて知っていただくかということで、統一的なチラシやポスターをつくらせていただき、1年間を振り返ってみると、やはりこのチラシ、ポスターを見ると、中身が、詳しく見なくても一瞬で、目にとって、開成町は何かやっているんだなというのがわかるのかなと、改めて思います。

町の広報も、5月号から新しく「あじさいちゃん」をモチーフに、表紙に使って、リニューアルをさせていただき、町のホームページもそうです。「あじさいちゃん」は、町の公認キャラクターとして、改めてブラッシュアップをして、いろいろなところで、町内においても、いろいろな夏祭りに出ていたり、今日もあじさいちゃんに活躍していただきましたけれども、いろいろなところに出て行って、開成町のPRをしていただくことができ、1年間、元気な開成町をPRできたかなと私は思っています。これは1年間で終わるものではなく、これからずっとつなげていくものです。

今年以降、特にこの中に付加価値として含めていくのが、開成町に移り住んでいたと。子どもを産んで育てやすい町、それを今年以降、このブランディングの中に盛り込んでいきたいなど。

昨年10月から、小児医療費は6年生まで無料化しました。今年の4月には、駅の東側に常設型の子育て支援センター、今、役場の前にあるファミリーサポートセンターもあわせて、そちらに移動して、いつでも子育てをするお母さんたち、保護者の皆さんが立ち寄って相談ができる。さらにサポートセンターもありますので、子どもを預けたり、預かったりするような拠点もでき上がりますので、開成町のよさを、自然のよさ、観光のよさだけではなく、子育てしやすい町のよさをブランディングの中に盛り込んで、外にまた今年1年、発信していく必要があるかなと感じております。

さらに開成町ではなく、外に目を向けると、箱根の噴火や鬼怒川の氾濫、これは他人事ではないです。開成町も酒匂川を抱えておりますので、そのようなことの対応もきちんと考えておかないといけない。災害がいつ起こっても、必ず町民の皆さんの命を守るというのは大前提でありますので、そういうことを肝に銘じながら防災対策をやっていくと。

それにあわせて、この防災の拠点である庁舎、昭和45年にでき上がりました。もう47年たっています。改めてこの防災拠点の大切さを認識しながら、不退転の決意で、庁舎建設整備をしていきたいと思っております。

昨年、庁舎整備の基本構想案もまとまりました。皆さん方にまたお示しをさせていただきますけれども、2月末には町民集会4回予定をしておりますので、この中に、町民の皆さんに目に見える形、基本計画から基本設計と、いろいろな皆さん方のご意見を聞きながら、目に見える形の庁舎整備、このような形でつくっていききたいというイメージ案をこの2カ月でつくっていく必要があります。また、皆さん方も、委員会ができましたので、きちんとその中で我々の考えを説明させていただき、また、皆さん方の意見を聞きながら、議会等も含めて考えていきたいと思っております。

今年1年、防災も含めて、子育て支援を充実させながら進めていきたいと考えておりますので、ぜひ、今年1年、皆さん方のご協力の中で、いろいろな議論をしながら、住みよい町、安全な町をつくり上げていきたいと考えておりますので、ぜひ、よろしくお願ひいたします。

以上です

○議長（茅沼隆文）

どうもありがとうございました。

次に、私より、平成28年開成町議会1月随時会議に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと、議員各位におかれては、それぞれの思いがあると思いますが、皆様のご協力により、議会の運営を滞りなく進めることができたことに対して、改めて感謝申し上げます。

近年、地方議会の役割がますます重要になってきていることは、皆様ご承知のこと

と思います。特に本年は、地方創生にかかわる総合戦略の策定と、その実践が求められておりまして、我々議会においても論点や争点を明確にして、より大きな果実を収穫するために、深い議論が展開できるようにしていくことが求められております。

現在、審議が継続されている第31次地方制度調査会でも、議会制度や議会運営のあり方とともに、議員に求められる役割なども審議されております。

私どもの議会では、昨年来、議会運営委員会で検討されている議会基本条例の見直しについても、早晩、具体的な提案がなされるものと期待しております。

また、先ほど申し述べました地方創生にかかわる事業として、国では、例えば、若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる事業として1,099億円、また、多種多様にわたる、まち・人・しごと創生事業として1兆円が、平成28年度の国家予算に計上されようとしております。これらが全て交付金になるものとは思われませんが、町の財政基盤をより強固なものにするためにも、国や県が用意している各種交付金、補助金については、できるだけ多くのもをを獲得し、各種の施策をスムーズに推進していくことが求められております。

行政執行者側におかれましては、その旨、十分にご努力いただいておりますこと、また、平素の行財政運営を適切に執行されていることに対し、町議会を代表して感謝申し上げますとともに、さらに町民の満足度を上げることができるよう、日常の業務執行にも取り組んでいただきますようお願い申し上げます。

また、さらに開成町の価値を高める活動、すなわちブランディング戦略の遂行についても、積極的に取り組んでいただけるように期待しております。

議員各位におかれては、国や県の動きはもとより、近隣の市町の動向にも気配りをいただき、さらなる研さんを積み、町民の福祉の向上のため、積極的な議員活動を推進されるようお願いいたします。

特に本年は、昨年12月定例会議で設置された、新庁舎に関する調査特別委員会では、建設的な議論が行われますように、また3月定例会議での予算審議では、町の財政運営と町民への行政サービスのバランス、さらに将来に対する効果などを十分に考慮した議論が展開されるように期待しております。

最後に、議員各位はもとより、行政執行者各位におかれても、議会の運営について、本年もより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げまして、私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

以上で諸般の報告を終わります。